

清流の国ぎふ 博物館・図書館 連携企画展

岐阜県博物館コレクション
Gifu Prefectural Museum Collection

つながるひろがる

錦絵展

2022.4.23sat—5.22sun

【開館時間】平日/10:00~20:00
土・日・祝/10:00~18:00
【休館日】月曜日・4月28日(木)

【会場】岐阜県図書館2階 企画展示室II
岐阜市宇佐4-2-1
【主催】岐阜県博物館・岐阜県図書館

観覧
無料



2022.4.23sat—5.22sun

岐阜県博物館コレクション Gifu Prefectural Museum Collection

つながる ひろがる

錦

絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色摺の浮世絵木版画のことです。この名称は、従前の墨摺絵を基本とした頃と異なり、錦織物をも凌ぐほどの美しさとなったことに由来しています。鈴木春信らによって確立され、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳、月岡芳年をはじめとする多くの浮世絵師が、実に様々な作品を世に残しました。

用紙は時代によっても多少異なりますが、大判がおよそ縦39×横26cmのサイズです。そして、これを並べて大画面にした作品も存在しており、大判を横に3枚並べた大判3枚続がよく知られ、さらに5枚続、6枚続やそれ以上、あるいは縦に2枚、3枚と繋いだものも描かれました。これらは続絵と呼ばれ、総じて個々に鑑賞できるようにもなっていますが、連続させることによって、一層スケールの大きな作品となるよう構成されています。

今回は、岐阜県博物館が所蔵する錦絵のうち、武者絵や芝居絵、相撲絵、風景画、開化絵など多彩なジャンルによる大判続絵に焦点を当てて紹介していきます。



香朝楼(三代歌川国貞)
《風船乗評判高閣》
明治24年(1891)

つながる
ひろがる



歌川国芳《源三位頼政鶴退治》
天保14年(1843)

武者絵



三代歌川豊国《名古屋山三/不破伴左衛門/かつらぎ太夫》
万延元年(1860)

芝居絵



三代歌川豊国《鬼面山と不知火の取組》
安政4年(1857)

相撲絵

岐阜県図書館への アクセス

- JR西岐阜駅より徒歩14分
- 西ぎふ・くるくるバス(大人100円、小学生50円)
JR西岐阜駅南口より乗車(約5分)「県図書館・美術館」下車すぐ
- 岐阜バス(有料)鏡島市橋線 市橋行
JR岐阜駅(6番乗場)/名鉄岐阜駅(1番乗場)より乗車(約15分)
「県美術館」下車徒歩3分



【駐車場のご案内】
411台
(岐阜県美術館と共用)
※周辺の商業施設等、指定以外の駐車場は使用されませんようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、展覧会の中止や会期変更場合があります。岐阜県博物館ホームページで情報をご確認の上、お出かけ下さい

GIFU PREFECTURAL LIBRARY

岐阜県図書館

〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1
TEL 058-275-5111 FAX 058-275-5115
<https://www.library.pref.gifu.lg.jp>

GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館

〒501-3941 岐阜県関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL 0575-28-3111 FAX 0575-28-3110
<http://www.gifu-kenpaku.jp/>

岐阜県博物館コレクション



月岡芳年《東海道名所図会》(部分)
慶応元年(1865)

風景画

新登場

NISHIKI!E